

＜自主的努力項目記入書式＞

提携先	株式会社 秋川牧園	記入日	2009/7/25
登録消費材名	鶏肉、鶏肉加工品		

**I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など**

- ・ はりまの生産性向上に取り組み、育成率および平均体重も良くなってきています。
- ・ 廃棄物(羽、頭、内臓等)の有効利用として、飼料や肥料にリサイクルしています。
- ・ 排水処理工程の改善を通じて、環境負荷の低減が着実に実行できています。  
(浄化槽排水路新設、エコグリス[微生物]による排水の水質向上)
- ・ 鶏精肉に続き、今回新たに、「フライパンチキン」と「とりがらスープ」がSマーク品として認定されることとなり、更なる品質向上へ努めます。

**II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)**

- ・ 従業員教育(品質、衛生教育)として、社内だけでなく、前年に引き続き外部の講師を招き、講習会を行い、全体の意識向上に努めています。
- ・ 異物混入の総数は減少していますが、目標達成には至りませんでした。
- ・ 飼料用米への取り組みとして、給与試験(約30日令以降に与える後期飼料にもみ米を10%添加し与える)を行ったところ、飼育成績および肉質等への大きな影響もありませんでした。ただ、入手できる飼料用米が不足しているため、より多くの飼料用米の確保が課題です。

**III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標**

- ・ 外部委託業者による防虫防鼠のモニタリングや分析結果を活用し、前年に比べ虫の発生(捕獲)数を減少させることはできましたが、虫の混入クレームが発生したため、今年度は達成できなかった虫の混入クレーム0件を目指します。
- ・ 今後も、国産鶏種はりまの生産技術向上に加え、飼料用米の生産拡大に向け取り組んでいきます。